

小平町地域公共交通会議

平成24年3月23日設置

●小平町

概要

小平町内の路線バスは、日本海沿岸の国道232号を運行する路線と、内陸部と小平地区を結び留萌市内まで向う路線が運行されている。また、スクールバスは5路線、タクシーは小平地区と鬼鹿地区において各1台運行している。

小平町においては、これまで関連する各種施策の展開により町民の移動の足を確保してきたところであるが、さらなる人口減少・高齢化社会の進行を見据えた上で、将来にわたる持続的な地域公共交通ネットワークの再構築が必要となっている。

○地域公共交通の現況

- ・沿岸バス(株)(町内1路線)
- ・てんてつバス(株)(町内1路線)
- ・スクールバス(5路線)
- ・タクシー(2台)

○地域公共交通の課題

- ・人口減少や少子化等による公共交通利用者の減少
- ・公共交通空白地帯の高齢者等の移動が不便
- ・多大な公共交通関連支出による町財政への圧迫
- ・路線バスのみならず、スクールバス・タクシーも含めた、一体的な公共交通体系の構築が必要

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査
- ・地域内フィーダー系統確保維持計画素案検討
- ・会議の運営
- ・関連する事務

○地域公共交通会議開催状況

- 8月20日 第1回会議を開催 ・主な協議事項:業務の実施概要
- 11月28日 第2回会議を開催 ・主な協議事項:小平町の地域公共交通の検討
- 2月8日 第3回会議を開催 ・主な協議事項:新しい地域公共交通事業の構築
- 3月5日 第4回会議を開催 ・主な協議事項:業務の報告書案、事業評価



小平町地域公共交通会議 調査事業の取組状況

●調査事業の結果概要

- ・現況交通実態調査
公共交通事業者や地域のヒアリング、統計資料等より、公共交通に係る実態を調査・把握した
- ・利用者ニーズ把握調査
小平町の全世帯を対象にアンケート調査を実施し、公共交通のニーズ等を把握した
- ・地域内フィーダー系統確保維持計画素案検討
現況やニーズ等を踏まえて、フィーダー系統確保維持計画の素案を検討した
- ・会議の運営
小平町地域公共交通会議を4回開催し、今後の公共交通のあり方検討と関係者の意見調整等を行った
- ・関連する事務
上記の事業を遂行するにあたっての関連事務作業を行った

●調査事業実施の適切性

各事業内容が適切に実施され、
今後の計画策定につながる調査となった

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

今回の調査事業の結果を踏まえ、「小平町生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)」を策定する

これにより、「地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)」の補助を申請し、平成26年10月以降を目途に小平-達布間におけるデマンド型運行を実施する

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点についてアドバイスする。

・調査結果に基づく新たな交通システムの導入検討に当たっては、最適な手段が導入できるよう、道外も含めた類似事例の収集や、実際に利用する可能性が高い人を対象にしたニーズ調査とその結果を緻密に分析した上での導入シミュレーション、実証調査等を綿密にされたい。またその際、既存の路線バス、スクールバス等との役割分担や乗り継ぎ円滑化に留意されたい。